

## 第20回環境NPOリーダー海外研修報告書

一般社団法人ふくおか FUN

代表理事 大神 弘太郎

はじめに

星団長、小野さん、通訳の小島さん、旅行代理店の永田さん、研修を支えていただいた諸先輩方、そしてセブン-イレブンに関わる全ての皆様、このような貴重な研修に選んでいただき、質の高い学びをご提供いただけたことを心より感謝申し上げます。

様々な境遇、立場の中でこの報告書をご覧いただいていることと思います。ここでは私が研修中心に響いた「言葉」を通して想いや行動をお伝えします。この文章が皆様の活動を活性化させる「何かのキッカケ」になれば幸いです。

◎訪問団体の活動やマネジメントなど、どの部分を日本のNPOとして活かせるか。

### 「愛着あるものしか保護できない」

私はこれまで“ボランティア＝無償”という考え方に抵抗を持っていました。しかしドイツのボランティアは全て無償の元に成り立っています。これは活動目的を明確に伝え、向かうべき方向に向かっている姿勢に関わりを持ちたいと考える人たちが集まった集合体こそが、団体としてふさわしい姿であるかのように感じました。労働力としてみるのではなく、団体にとって貴重な財産としてボランティア受け入れを行う体制づくりほどの団体においても当てはまるのではないのでしょうか。活動を支えるボランティアが活動に愛着を持ち、自分ごととして物事に取り組んでいける場づくりがあれば、より魅力ある活動が生まれるに違いありません。私の団体ではこれまでダイバー（スキューバダイビング）中心のボランティア活動に特化してきました。今後ダイバー以外の一般の方々

も愛着を持って参加できる活動を提供していきます。

### 「お金は必要だけど、アリバイとして使われるのは嫌だ」

企業からのスポンサーシップは活動していくうえで非常に重要なものです。しかしながら現状の企業と同じ目線に立ち、本当に信頼しあえるパートナーとして活動できている団体は少ないように思います。かくして私もその一人です。CSR や CSV が必要とされている現在、企業にとってもボランティア活動が必要な活動になってきていることは間違いありません。お金の上に生まれた上下関係ではなく、明確な目的を持ち、企業と連携することが重要です。逆に目的に合わない連携は断る勇気が必要なのかもしれません。そのはっきりとした意志表示が相手にとっても連携し続けたいと感じる信頼になっていくものです。私の団体では団体単位ではなく、プロジェクト単位での企業連携に形を変えていこうと考えています。そして企業が従業員の皆様、そしてそのご家族といった、ステークホルダーの皆様と共に創っていけるプロジェクト作りに尽力します。

### ◎研修を通して日本の環境 NPO 活動を支援するために、どのような仕組みが考えられるか

#### 「確信を持っているから、30年なんてあっという間だよ」

今回の研修の中で30年間終わりの見えない気候変動問題に向き合い続けている方と出会いました。彼の言葉、行動に私たちは全員が感動、興奮、そして涙しました。圧倒的ネガティブは人の心を大きく動かします。しかし問題が大きければ大きいほどモチベーションを維持していくことは困難です。大きな問題を可視化するには小さな活動の積み重ねが必要です。団体が個々に動くのではなく、問題を共有し蓄積していく。その数は多ければ多いほどより確信に近い

ものとなるでしょう。簡単な連携や価値観共有ではなく、協働で問題を解決していく仕組みが必要です。戦うべきは社会、人ではありません。ドイツで感じた大きな考え方の一つとして、問題を起こしている張本人（人や企業）を攻撃しがちですが、問題はそうになってしまう社会（法律）にある。法律は絶対的なものだからこそ、社会が変わらなければいけない時、変えるべきは人ではなく、社会だと。団体が連動し大きな組織として社会を変えていく仕組みづくり、そして小さな変化に一つ一つ喜べる仲間を作っていかなければと感じました。それが継続（好きであり続ける）につながっていく、本物の活動になっていくのだと感じています。

### 「市民であり、政府であり、NPOである」

ドイツの政治は連邦制で各州が国のような存在として動いているように感じることが多々ありました。法律も州ごとに決められる権限（もちろん国の法律もありますが）が日本と比べて格段に大きいように感じました。これは言うなれば数十万人という小さな規模の州でも意志決定をし、法律を変えていくことができるということです。そこに市民やNPOの声が聞き入れられる。ドイツの方々は自由意志のもと自発的に考え行動する方が多いという背景には、このような意志決定できる輪の中に自分がいることを感じられる社会があります。そして政府の方も一人の市民としての自由意志を持っています。日本では市民、政府、NPOがセパレートにカテゴリ分けされ、それぞれができる事をやっていく姿勢がありますが、ここドイツでは皆が市民です。そして政府のパートナーとしてNPOがあります。大きな工事や建設がある場合、その情報を認定されたNPOに開示しなければいけないという義務があります。そこに対してNO！と言って良い権利が市民にはあるのです。全てが市民として意見を投げ、政府とNPOがパートナーとして社会変革（法改正）に関与していく。日本でも一人一人にひらかれた社会をつくっていくこと。それは変わり続ける環境と向き合い続けている日本の環境NPO活動の未来にとってもとても重要な事だと感じています。

## ◎全体を通しての感想

### 「概念をぶっ壊す」

こちらはドイツの講師ではなく、20期6名の話し合いの中で出てきた言葉です。人の心を動かすには感動が必要です。継続していくにはその感動を超える感動が必要です。これらを実現するには今私たちが考えついている当たり前の“概念”をぶっ壊すことから始まるのだと感じました。私はダイバーとして海の世界を伝えてきました。これからも海をフィールドに活動することが当たり前だ感じていましたが、普段活動している海というフィールドももしかしたら壊すべき概念なのかもしれません。そのためには団体として目指すべき目標を明確にし、伝え続けていくことが重要です。何を目的に何をしたいのか。どんなプロジェクトがあって、どんな支えが必要なのか。その考えのもと新たな視点、行動が大きな感動を作り出していくのだと感じました。

### 「必要なのはカリスマじゃない、どんなことがあってもやり続けていく忍耐だ」

本当の通訳は右から左に訳していく。そういうものだと、いやそうあるべきものだとこれまで感じていました。しかし今回ドイツの地で私たちの言葉を紡いでいただいた小島さんの言葉は、その概念を壊していた方の一人です。朝から晩まで情熱を注ぎ続けているドイツの声、止まらない日本からの質問の声通訳していく。そのまま訳すとわかりにくいことは思いっきり形を変えて伝えていく。違うと感じたら通訳しないこともありました。そんな情熱通訳が私たちの“声”であったことを誇りに思います。

### 「僕には大きな夢があるんです」

引率していただいたセブンイレブン記念財団小野さんの言葉です。この夢が小野さんを十数年以上動かしているのだと感じました。

ドイツ研修の行く先々でいただいたおもてなし。最初はろくに紹介もしてくれなかった所もあったとか。これまでドイツの地で真摯に学び続け、情熱の火を燃やし続けてきた小野さんの裏側にはリーダー会の先輩方をはじめといたくさんのたくさんの人の想いを感じることができました。情熱の連鎖は大きな感動に繋がる。その根幹にある真摯さがマネジメントをする上で重要な要素です。

率先垂範し私たち 20 期を牽引し続けた鬼軍曹を支え続けたセブンイレブンの皆様に心より感謝申し上げます。

### 「入社したての社員と社長が同じ方向を向いているそれが強い団体」

第 20 回環境 NPO リーダー研修の団長である星さんの言葉です。“理念＝判断基準” 理念が団体全体に浸透して同じベクトルを向いている団体は強い。時には NPO：企業として、時には個人：個人として様々な議論をできた事で顧客という存在を定めていくことができました。また、初めてのリーダー研修という境遇の中、私たちの心が休まる場を創り続けていただけたことは、かなりタイトな時間を過ごしている私たちにとって大きな癒しでした。立場を超えたご配慮とご対応に感謝いたします。皆が誓約した内容忘れないでくださいね！！

貴重なお時間を投じてここまで読んでいただきありがとうございます。  
今まで私はかなり行動力や吸引力に依存したリーダーでした。  
前述させていただいた内容も当たり前のようなことを書いているように感じたかもしれませんが、その当たり前を深掘りし続けていく。その日々の積み重ねが人の心を動かすのだと痛感しました。行動力や吸引力の前に必要なもの、それは明確な意志決定です。団体がどこに向かい、何を解決するのか、そしてどんな関わりを求めているのかをその人それぞれのニーズに合わせて明確に伝えていくこと、続けていくことが重要です。

私の次なる目標は“人材育成”です。情熱を継承し、その自由意志を持って次なる情熱を伝え続けていける環境の場となれるよう尽力していきます。

### ◎最後に研修を考えている方へ

環境 NPO リーダー研修ではどんなにお金積んでも学べない世界を得ることができます。ここに必要なのは活動実績や資金規模、会員人数といった団体規模の大小ではなく、心の底から学びたいという情熱です。ここには全ての人に拓かれた社会が存在しています。今はリーダーという立ち位置にいない人であっても、あなたにしか発揮できない信念や情熱を持っているのであれば迷わずチャレンジしてみてください。もしそれが社会にとってとても重要なことであれば、環境 NPO リーダー研修はあなたのその想いに必ず応えてくれるはずです。

迷わず行けよ、行けばわかるさ。